

西大沼中央自治会

地域の話題

自治会紹介シリーズ

『西大沼中央自治会』

西大沼中央自治会は、西大沼3丁目と4丁目で構成され、世帯数は334世帯です。この地域は、木もれびの森に隣接していて、所々に畑が散在し、緑も多く里山の雰囲気を感じさせます。

大沼公民館で、会長就任8年目の澁谷勇会長にお話を伺いました。

当自治会も高齢化が進んでいますが、役員構成では若い方が半数位おられ、頑張ってくれています。また、大工さん、電気屋さん、屋根屋さん等の職人さんが多く、何かあった時の対処は早く、助かっています。

お祭り等の定例行事のほかには、親睦会のようなものは行っていませんが、防災・防犯には力を入れています。

年1回、近隣自治会で防災訓練を行っています。人命救助の模擬訓練も積極的に取り入れ、昨年はジャッキを使い、下敷きになっている人の救出訓練をしま

した。小さな自治会ですので、近隣自治会との協力や助け合いが大切です。また、民生委員の方がお年寄りの参加を手助けしてくれています。

防犯パトロールは、月2回、8区に分け、区単位の当番制で行っています。皆で守るという意識が高く、参加する会員も多いです。

当自治会の不便な点は、集会所がないことです。その為、行事後のちよつとした集まりの場として、木もれびの森を活用しています。

昨年、環境省から表彰されました「木もれびの森周辺美化活動」は、地域住民の皆さまからも大変喜んでもらっていました。(澁谷勇会長 談)



木もれびの森周辺の清掃

取材の最後には、会長から「自治会の集会所がほしいですね」とため息のようなお言葉がありました。



次回は「自治会法人西大沼二丁目自治会」の予定です。